



国立大学法人

名古屋工業大学

Nagoya Institute of Technology

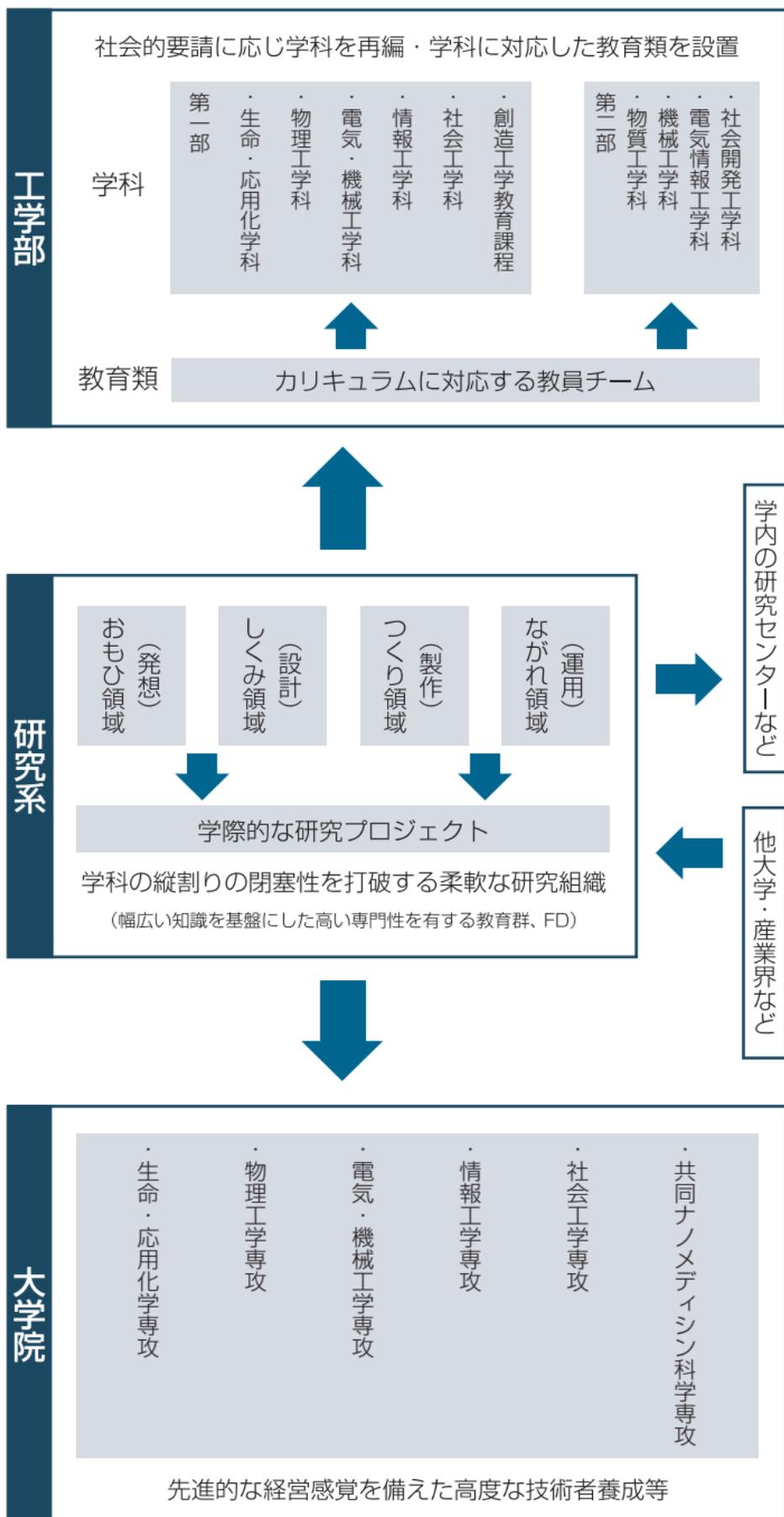
DATA BOOK
2016-2017



教員組織

教員組織として「領域」を設置

従来の縦割り学問分野による学科組織から離れて、異分野の教員が交流する横断的、学際的な組織であり、研究系組織として大学院に置くものです。領域は、おもひ（発想すること）、しくみ（設計すること）、つくり（製作すること）、ながれ（運用すること）という四つの領域があります。各教員は、このいずれかの領域に所属し、教員同士が互いに刺激し合うことで、新たな学際的な研究プロジェクトがたちあがることを期待するものです。



100年にわたる伝統の上に新たな風を

明治38年3月28日 創設
名古屋高等工業学校

昭和18年2月16日 創設
愛知県立高等工業学校

昭和19年4月1日 改称
名古屋工業専門学校

昭和19年6月1日 改称
愛知県立工業専門学校

昭和24年5月31日
名古屋工業大学

平成16年4月1日
国立大学法人 名古屋工業大学

- 名古屋工業大学は、明治38年創設の名古屋高等工業学校と、昭和18年創設の愛知県立高等工業学校が合併し、昭和24年に新制大学として発足しました。
- 平成16年に「国立大学法人名古屋工業大学」として新たに発足しました。

工学系の単科大学。 2016年4月に組織改革を実施しました。

工学部第一部

5学科、1課程

生命・応用化学科
物理工学科
電気・機械工学科
情報工学科
社会工学科
創造工学教育課程

工学部第二部

4学科

物質工学科
機械工学科
電気情報工学科
社会開発工学科

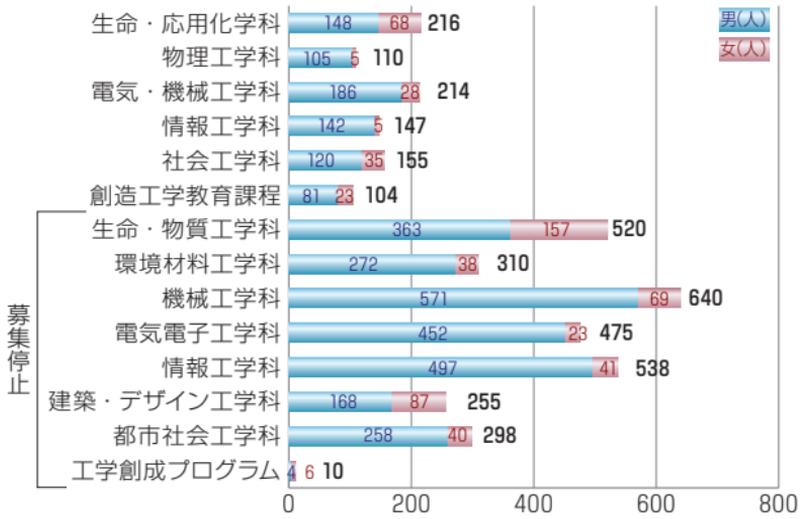
大学院工学研究科

6専攻

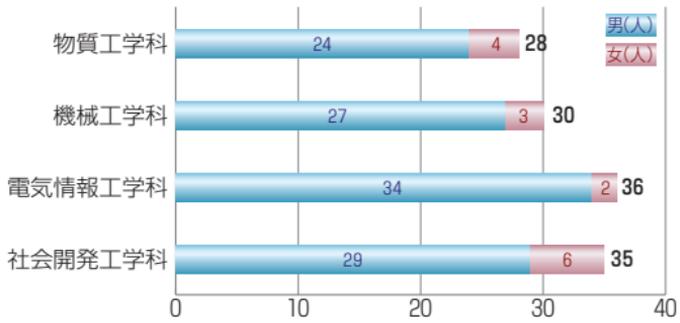
生命・応用化学専攻
物理工学専攻
電気・機械工学専攻
情報工学専攻
社会工学専攻
共同ナノメディシン科学専攻
(博士後期課程のみ)

5,680人が在学中 そのうち約15%が女子

◆工学部(第一部) 計3,992人

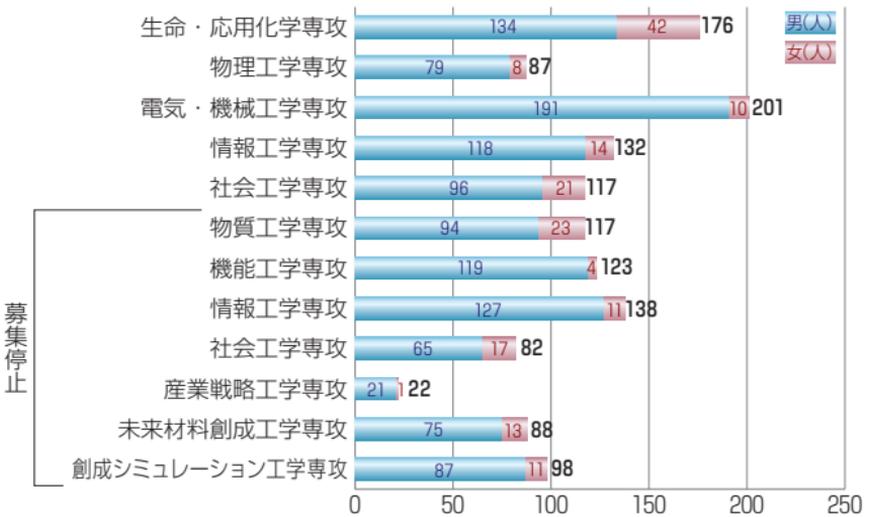


◆工学部(第二部) 計129人

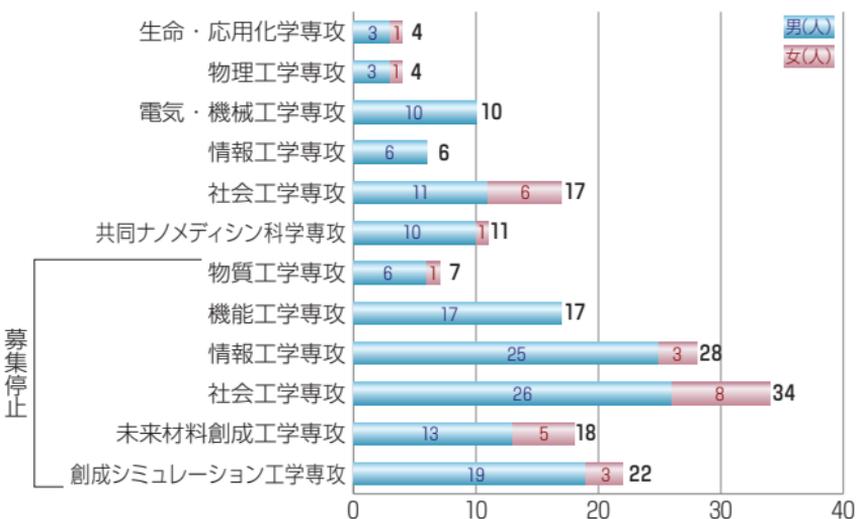


◆大学院工学研究科 計1,559人

博士前期課程 計1,381人



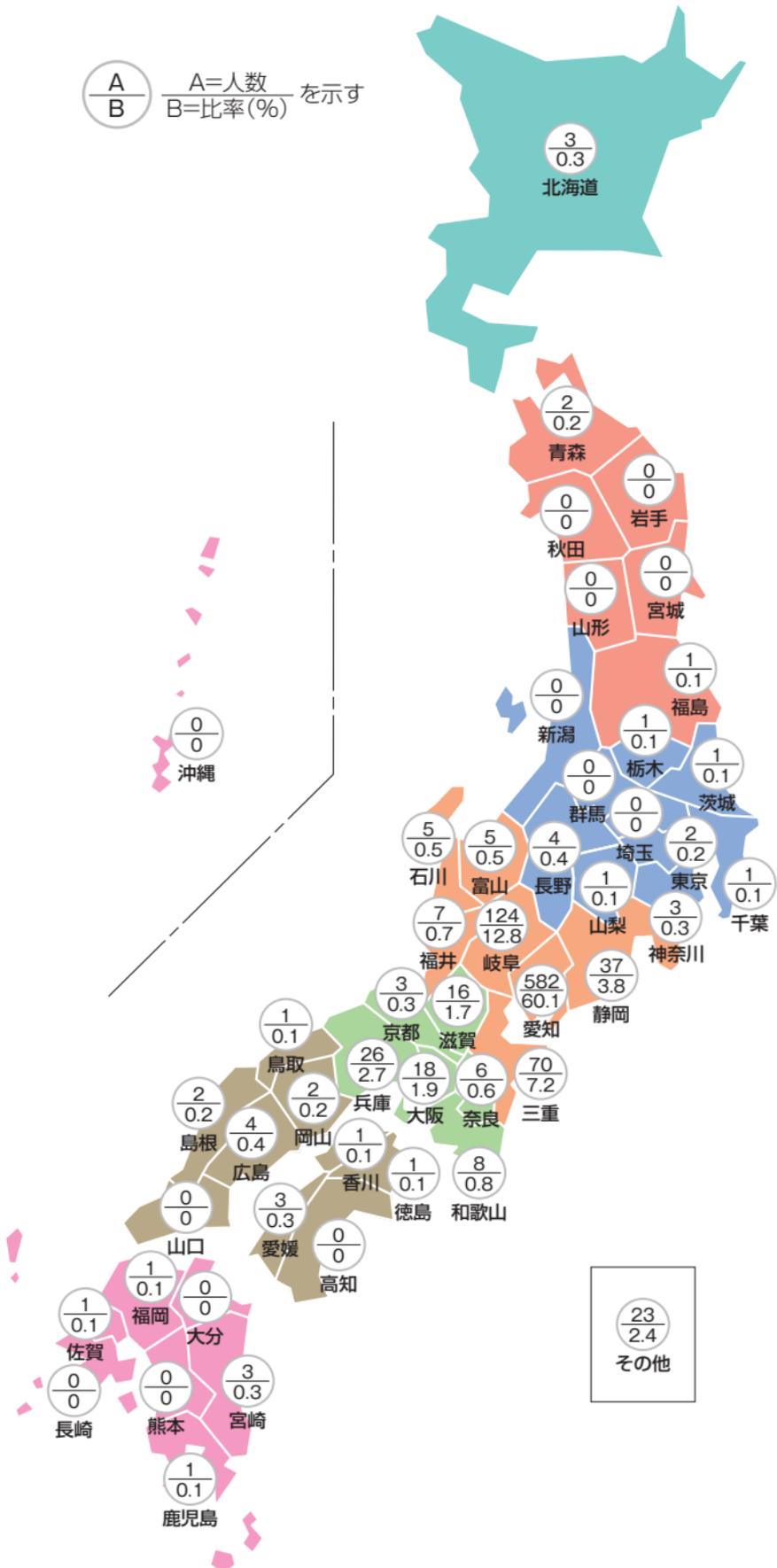
博士後期課程 計178人



入学者出身高校所在地

- 東海・北陸地区を中心に全国から学生が集まっています。
- 平成28年度入学者の場合、東海3県の出身割合は、第一部が80.0%、第二部が82.6%です。愛知県出身割合は、第一部が60.1%、第二部が56.5%です。

$\frac{A}{B}$ $\frac{A=人数}{B=比率(\%)}$ を示す



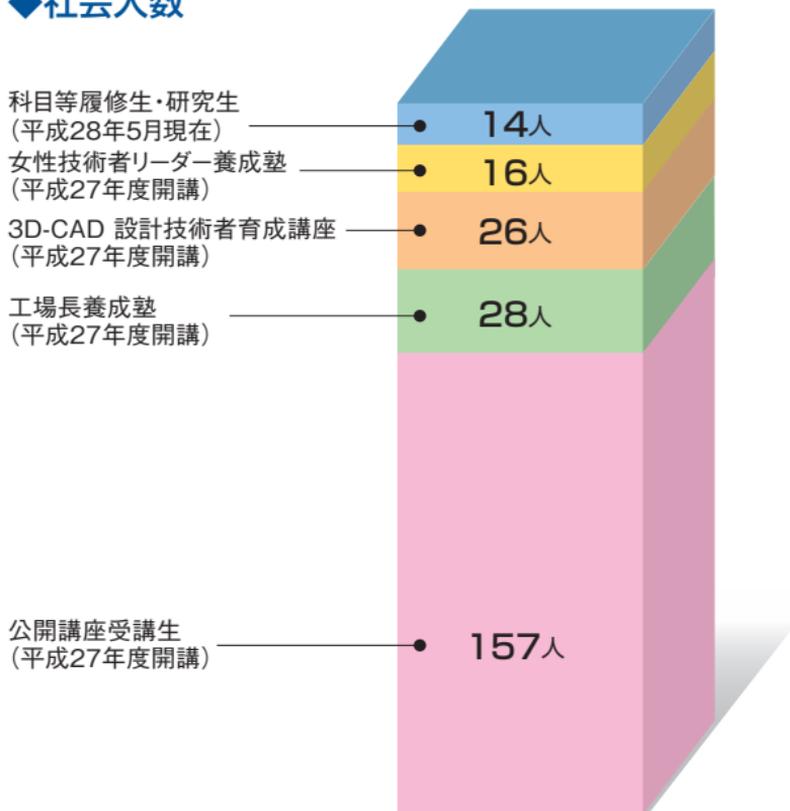
■平成28年度志願倍率は、第一部前期日程3.5倍、第一部後期日程7.9倍、第二部5.6倍、大学院博士前期課程1.5倍、大学院博士後期課程1.1倍となっています。

区 分	募集人員	志願者数	合格者数	入学者数	
工 学 部 (第一部)	推薦	116	187 (82)	100 (37)	100 (37)
	AO入試	3	1 (0)	0 (0)	0 (0)
	前期日程	485	1,688 (273)	539 (86)	527 (85)
	後期日程	306	2,407 (375)	368 (45)	295 (37)
	第2次募集	3	197 (36)	5 (0)	5 (0)
	私費外国人 留学生特別入試	若干名	118 (36)	25 (11)	8 (1)
	国費・政費	若干名	5 (3)	5 (3)	5 (3)
	日韓	若干名	7 (1)	7 (1)	6 (1)
工 学 部 (第二部)	20	112 (16)	25 (4)	23 (4)	
大学院工学研究科 (博士前期課程)	586	871 (110)	749 (100)	713 (95)	
大学院工学研究科 (博士後期課程)	42	46 (8)	43 (8)	42 (8)	
合 計	1,561	5,639 (940)	1,866 (295)	1,724 (271)	

注：() は、女子数を内数で示す。

様々な形で生涯学習を行っています

◆社会人数



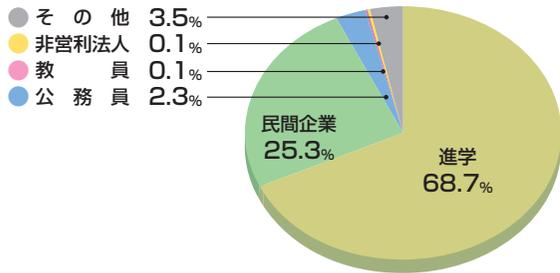
■博士前期課程、博士後期課程にも計102人の社会人が在籍しています。

7 卒業後の進路

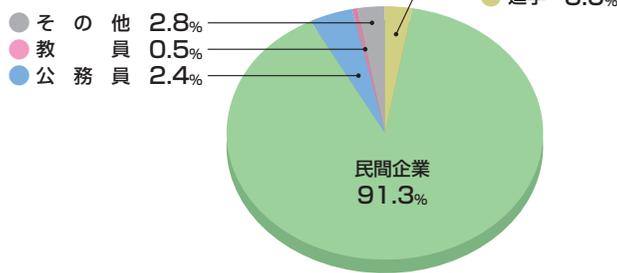
学部卒業者の68.7%が大学院へ

【学部・大学院別進路状況(平成27年度卒業・修了者)】

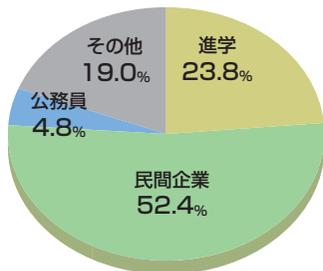
◆第一部 (卒業者 974名)



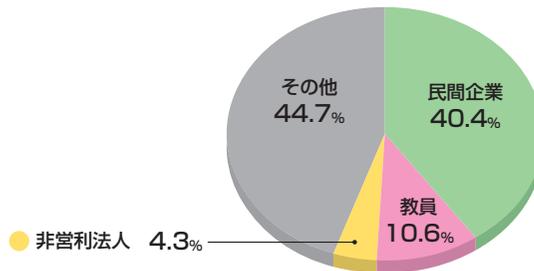
◆博士前期課程 (修了者 632名)



◆第二部 (卒業者 21名)



◆博士後期課程 (修了者 47名)



◆主な就職先

区分	学部 (一部・二部)		大学院博士課程 (前期・後期)			
産業界	アイシン・エイ・ダブリュ	8名	トヨタ自動車	23名	日本ガイシ	4名
	アイシン精機	5名	デンソー	21名	パナソニックエコシステムズ	4名
	住友電装	5名	アイシン精機	19名	浜松ホトニクス	4名
	トヨタ自動車	5名	ブラザー工業	19名	リンナイ	4名
	ニッセイ	5名	アイシン・エイ・ダブリュ	14名	アイカ工業	3名
	ヤマザキマザック	5名	三菱電機	13名	大林組	3名
	日本システム開発	4名	豊田自動織機	12名	小糸製作所	3名
	大林組	3名	中部電力	10名	ジェイアール東海情報システム	3名
	ジェイテクト	3名	川崎重工業	8名	大成建設	3名
	大成建設	3名	マキタ	8名	竹中工務店	3名
	中部電力	3名	新日鐵住金	7名	中電シーティーアイ	3名
	トヨタ車体	3名	東海理化電機製作所	7名	東邦ガス	3名
	富士機械製造	3名	日本特殊陶業	7名	豊田合成	3名
	マキタ	3名	三菱自動車工業	7名	トヨタ紡織	3名
	メイテツコム	3名	スズキ	6名	ノリタケカンパニーリミテド	3名
	リンナイ	3名	ヤマハ発動機	6名	富士重工業	3名
	鹿島建設	2名	アドヴィックス	5名	富士通システムズ・ウエスト	3名
	清水建設	2名	東芝	5名	三菱電機メカトロニクスソフトウェア	3名
	大同メタル工業	2名	パナソニック	5名	村田製作所	3名
	東海旅客鉄道	2名	日立製作所	5名	ヤマザキマザック	3名
	トヨタホーム	2名	愛知製鋼	4名	IHI	2名
	バッファロー	2名	NTN	4名	島津製作所	2名
	パロマ	2名	オークマ	4名	清水建設	2名
	富士重工業	2名	JSR	4名	ダイハツ工業	2名
	本田技研工業	2名	デンソーテクノ	4名	西日本旅客鉄道	2名
	三菱電機メカトロニクスソフトウェア	2名	中日本高速道路	4名	富士ゼロックス	2名
ヤマハ発動機	2名	トヨタコミュニケーションシステム	4名	三菱重工業	2名	

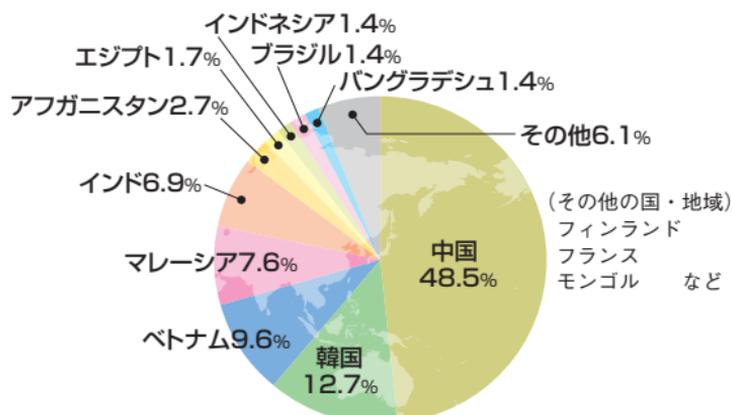
区分	学部 (一部・二部)		大学院博士課程 (前期・後期)	
非営利公法人庁	名古屋市	5名	愛知県	6名
	愛知県	3名	滋賀県	2名
	岐阜県	2名	名古屋市	2名
	豊田市	2名	(公益財団法人) あいち産業振興機構	1名
	豊橋市	2名	一宮市	1名
	防衛省地方防衛局	2名	静岡県	1名
	神戸市	1名	総務省	1名
	国土交通省	1名	東京都	1名
	総務省東海総合通信局	1名	豊田市	1名
	山梨県	1名	(国立研究開発法人) 物質・材料研究機構	1名

※同人数の就職先は五十音順とする。官公庁は、教育機関を除く。

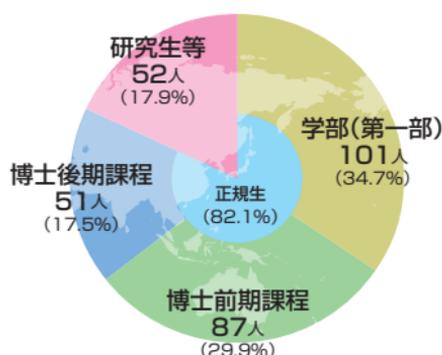
外国人留学生は291人 28カ国54大学等と交流協定締結

名古屋工業大学で学ぶ留学生は、世界23の国と地域からの291人です。うち89.7%に当たる261人がアジア地域からの留学生です。中でも中国からの留学生が一番多く、141人を数えます。

◆留学生の国別割合



◆留学生の区分別割合



◆国際化推進事業

国際化推進事業は、本学の学生が、海外の企業、高等教育機関、研究所等で、国際インターンシップや教育・研究活動に従事し、広範な基礎的・革新的知見、特殊技能・技術、より高度な論文作成力及び外国語による発表能力について研鑽を積むことを支援しています。

国際化の基盤作り強化と、国際的視野に富む有能な人材育成を推進するものです。

また、本事業は、一般社団法人名古屋工業会からの寄附金に基づき、実施しています。

平成27年度

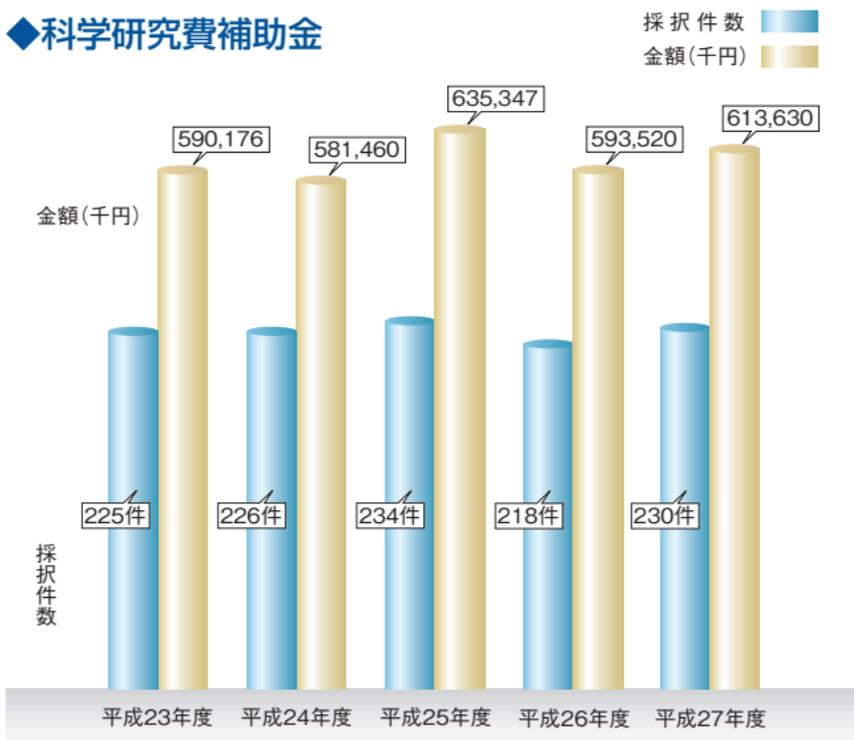
国・地域	人数
アメリカ	1
イギリス	2
イタリア	2
インド	1
オーストラリア	3
オーストリア	1
オランダ	1
カナダ	1
スイス	2
スウェーデン	1
ドイツ	5
フランス	6
ベトナム	1
ポーランド	2
マレーシア	2
ロシア	3
総計	34
総派遣者数	32*

*2名の派遣先がドイツ・ポーランドの2か国

採択件数230件 6億1,363万円

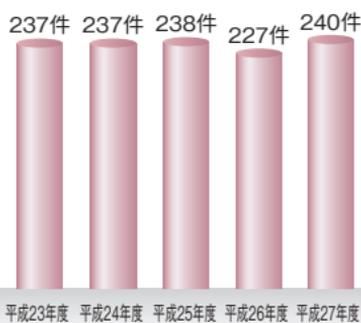
科学研究費助成事業は、我が国の学術を振興するため、人文・社会科学から自然科学まであらゆる分野における優れた独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的とする研究助成費であり、大学等の学術研究を推進し、我が国の基盤研究を形成するための重要な経費です。

◆科学研究費補助金

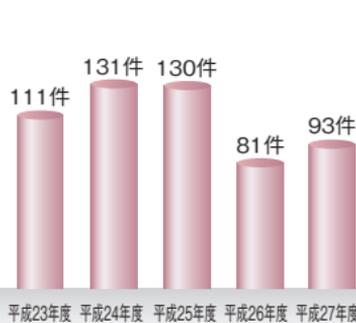


多くの共同研究・受託研究を実施

◆共同研究



◆受託研究



「共同研究」とは、企業等から研究者と研究経費を受け入れて、本学の教員と共通の課題について共同で行う研究です。

「受託研究」とは、学外機関等からの委託を受けて大学として行う研究で、これに要する経費を委託者が負担するものです。

◆知的財産収入

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
特許権等	8,166	16,398	10,263	17,014	12,888
著作権	0	0	158	661	236
ノウハウ	62,757	878	106	3,176	4,320
有体物	3,010	4,962	4,550	11,240	2,509
合計	73,933	22,238	15,077	32,091	19,953

金額(千円)

■プロジェクト研究所は、学際プロジェクトや産学官連携に資する研究を推進するもので、事業に要する経費は、各年度2,000万円以上の外部資金をもって充て、設置期間は3年以上5年以下とすることを設置の条件としています。平成28年4月現在設置されている研究所の名称、研究代表者（プロジェクト研究所長）は以下のとおりです。

研究所の名称	研究代表者 (研究所長)
国際音声技術研究所	徳田 恵一
エネルギー触媒開発研究所	小澤 智宏
次世代自動車駆動用先進モーター開発プロジェクト研究所	小坂 卓
名工大スマートマテリアル創成研究所	日原 岳彦
粉体科学研究所	藤 正督
窒化ガリウムパワーデバイス研究所	江川 孝志
未来医療介護健康情報学研究所	加藤 昇平
ビアメカニクスモーションシステム研究所	岩崎 誠
先端研究基盤共用促進研究所	江龍 修
生体・電磁環境研究所	王 建青
次世代耐震工学研究所	小畑 誠
コレクティブインテリジェンス研究所	伊藤 孝行
バイオセラミックス研究所	春日 敏宏
藤本技術総研融合システム研究所	青木 純
日本ガイシ マテリアルイノベーション研究所	森 秀樹

※設置順

蔵書数は約47万5千冊

◆蔵書総数

和書 263,038

洋書 211,501

合計 474,539

このほかに 雑誌 5,518 種類
電子ブック 19,588 冊
電子ジャーナル 7,547 種類

◆学外利用者数

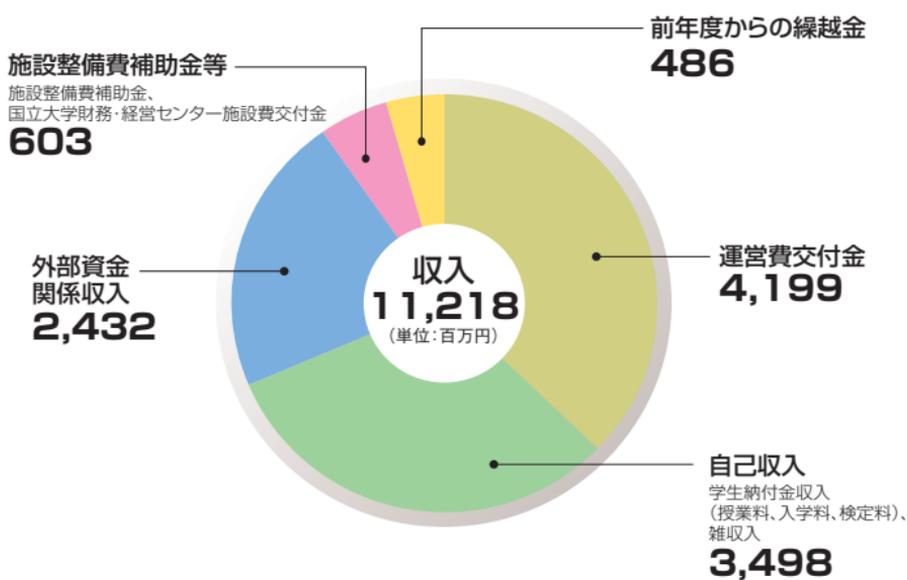
平成27年度 3,277人

■名古屋工業大学附属図書館の蔵書は、和書約26万3千冊、洋書約21万2千冊、合わせて約47万5千冊にのぼっています。

■市民への開放も積極的に実施しています。

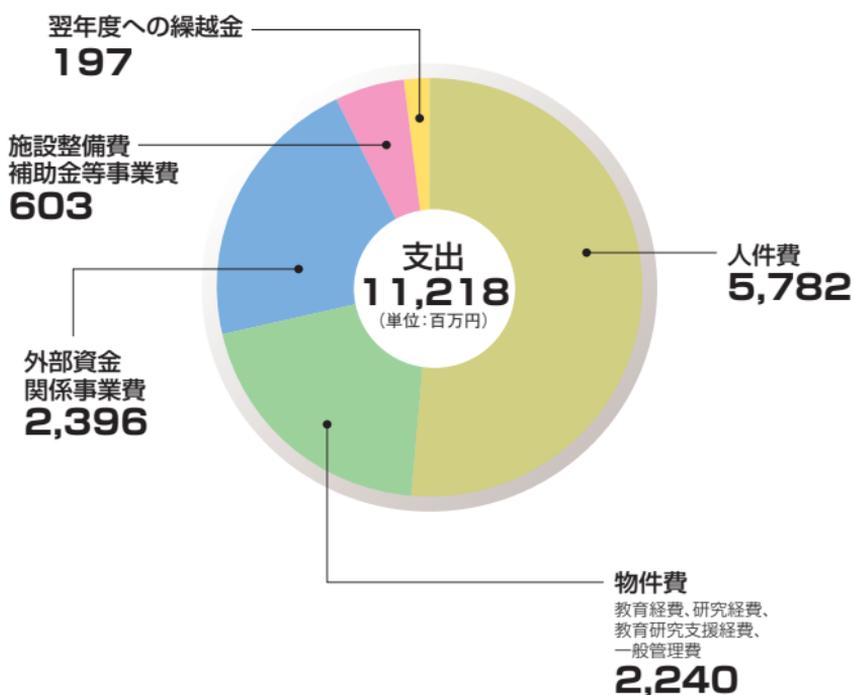
■「名古屋工業大学学術機関リポジトリ」から博士論文など本学で作成された学術論文をご覧いただけます。

平成27年度財政状況(百万円未満四捨五入)



注1: 外部資金関係収入については、〈外部資金関係内訳〉を参照。

注2: 前年度からの繰越金については、平成27年度支出分のみを記載。



◆外部資金関係内訳

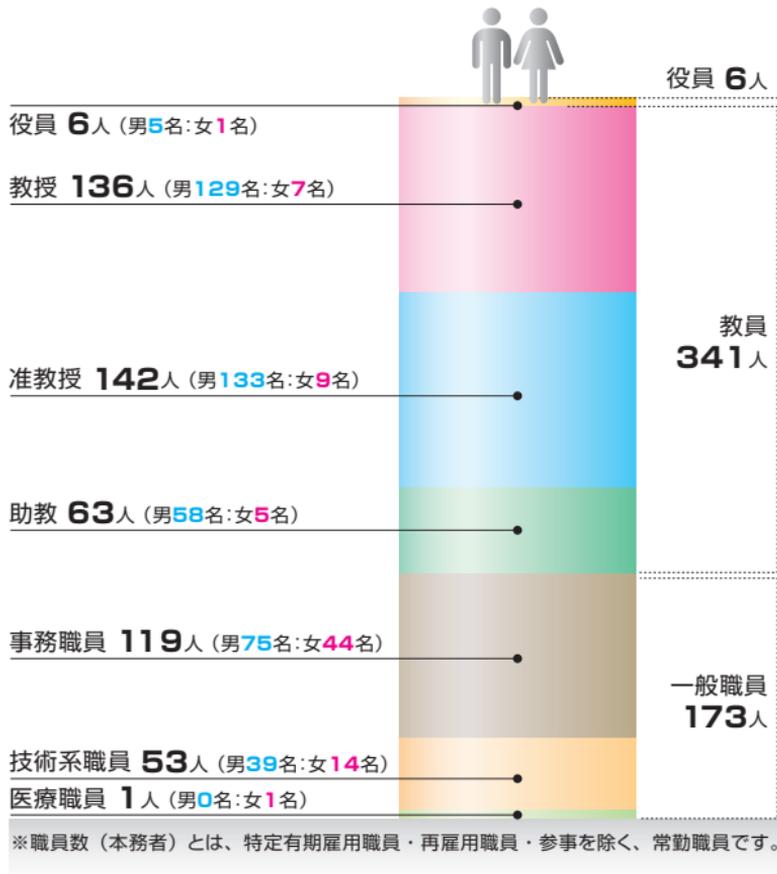
(単位:百万円)

区 分	件 数	決 算 額
寄 附 金	678	254
受 託 研 究 費	93	477
共 同 研 究 費	240	684
受 託 事 業 費	2	15
共 同 事 業 費	1	0
科学技術人材育成費補助金	2	39
地域産学官連携科学技術振興事業費補助金	2	26
研究開発施設共用等促進費補助金	1	39
戦略的国際研究交流推進事業費補助金	2	38
中小企業経営支援等対策費補助金	1	1
ぞん技術革新センター運営協議会 共同研究助成事業助成金	2	3
研究拠点形成費等補助金	1	36
国立大学改革強化推進補助金	2	664
医療研究開発推進事業費補助金	1	4
間接経費(科学研究費補助金等)	250	152
計	1,278	2,432

(注) 寄附金の決算額には、未収収益等を含む。

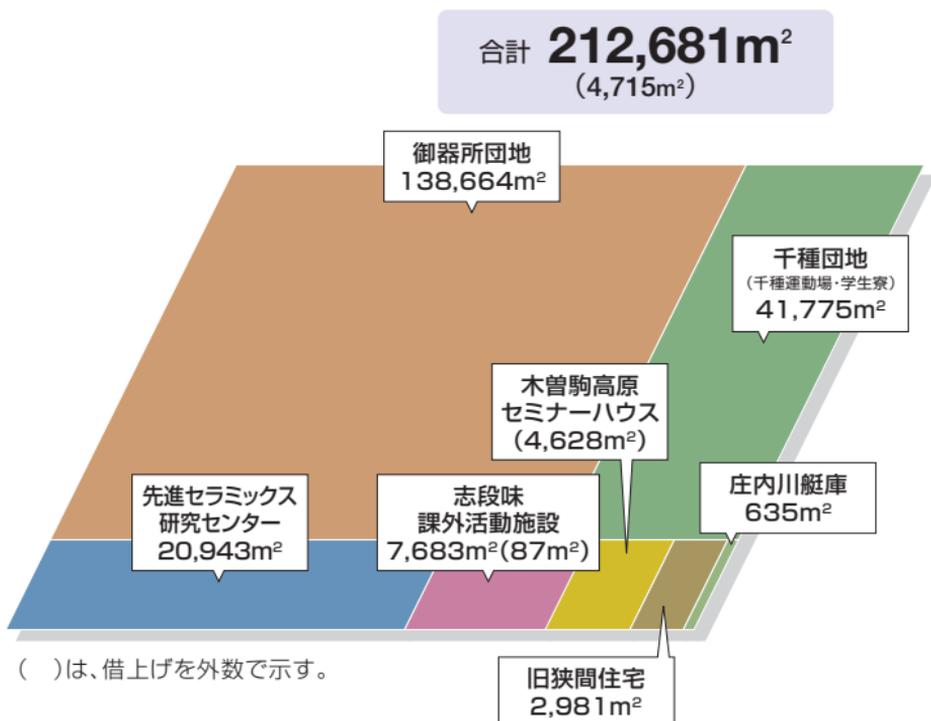
520人のスタッフが大学を支えています

- 大学は教育研究機関という性格上、多くのスタッフを抱えており、名古屋工業大学におけるスタッフの総数は520人です。そのうちの65.6%が教員（専任のみ）です。
- 教員のうち21人（6.2%）、一般職員のうち59人（34.1%）が女性で、全体の15.6%を占めています。

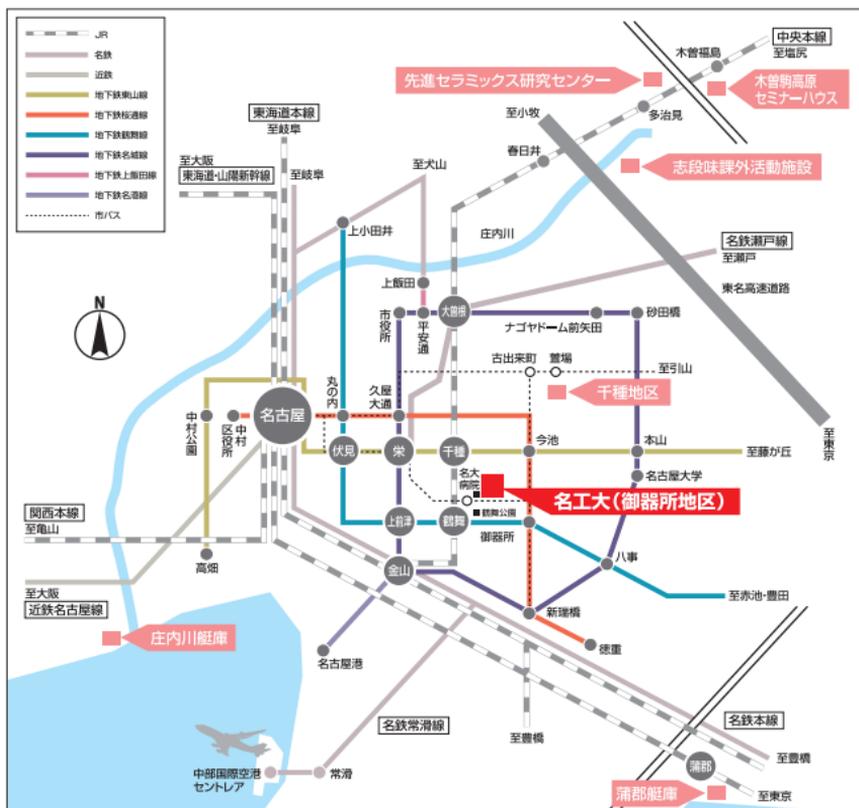


総面積は約21.2万㎡

- 名古屋工業大学の総面積は約21.2万㎡です。それ以外に4,715㎡を借上げています。
- 敷地は、御器所団地（昭和区）と千種団地（千種区）に分かれており、庄内川艇庫（中川区）、志段味課外活動施設（守山区）などが名古屋市内にあります。また、先進セラミックス研究センターが岐阜県多治見市に、木曾駒高原セミナーハウスが長野県木曾郡木曾町にあります。



◆位置図



◆名古屋工業大学(御器所地区)への経路

J R	名古屋駅	約6分 (中央本線)	鶴舞駅下車名大病院口 東へ500m		
地下鉄	名古屋駅	約2分 (東山線)	伏見	約6分 (鶴舞線)	鶴舞駅下車4番出口 東へ500m
市バス	栄	約14分 (栄18番系統妙見町行き)	名大病院下車 東へ200m		

◆キャンパスマップ



基本使命

名古屋工業大学は、日本の産業中心地を興し育てることを目的とした中部地域初の官立高等教育機関として設立されたことを尊び、常に新たな産業と文化の揺籃として、革新的な学術・技術を創造し、有為な人材を育成し、これからの社会の平和と幸福に貢献することをその基本使命とする。



ものづくり

名古屋工業大学は、構成員の自由な発想に基づく実践的かつ創造的な研究活動を尊ぶとともに地球規模での研究連携を推進し、既存の工学の枠組みにとらわれることなく、工学が本来有する無限の可能性を信じ、新たな価値の創造に挑戦する。



ひとづくり

名古屋工業大学は、自ら発見し、創造し、挑戦し、行動することで、工学を礎に新たな学術・技術を創成し世界を変革することのできる個性豊かで国際性に富んだ先導的な人材の育成に専心する。



未来づくり

名古屋工業大学は、国民から負託を受けた開かれた大学として地域および国際社会との調和と連携を重視し、ものづくりとひとづくりを通して平和で幸福な未来社会の実現に向けて邁進する。

- 1 沿革
- 2 学部・大学院
- 3 学生数
- 4 入学者出身高校所在地
- 5 入学状況
- 6 生涯学習
- 7 卒業後の進路
- 8 外国人留学生・国際交流
- 9 科学研究費助成事業
- 10 共同研究・受託研究
- 11 プロジェクト研究所
- 12 附属図書館
- 13 財政状況
- 14 役員・職員数
- 15 キャンパス面積
- 16 アクセス

国立大学法人

名古屋工業大学 DATABOOK

2016年7月発行

発行 | 名古屋工業大学

所在地 | 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL | 052-735-5000

URL | <http://www.nitech.ac.jp>

編集 | 名古屋工業大学企画広報課 広報室